



# 伝統芸能創造発信 プロジェクト2019

## section 1

しんえんしゅつさきがけじょうり  
新演出魁浄瑠璃  
るりゐろ絵巻

### 【演目】

#### 第一部

徳島の“もう一つ”の浄瑠璃  
いせおんどこいのねたば  
『伊勢音頭恋寝刃』『油屋の段』より

#### 義太夫節

浄瑠璃 竹本友和嘉  
三味線 鶴澤友勇

#### 第二部

講談と端唄、そして車人形による  
こうやたかお  
『紺屋高尾』

人形 八王子車人形・西川古柳座  
講談 田辺銀冶  
演奏 本條秀太郎ほか



浄瑠璃と伝統人形芝居  
藍に染まつた二つの物語！

徳島初上陸！  
今までにない人形浄瑠璃  
エンターテインメント！

平成31年2月1日 金  
open:18:30 | start:19:00 | close:21:00

あわぎんホール1Fホール  
(徳島県郷土文化会館)

AWA Traditional Performing Arts Meeting in  
2019.2.1<sub>FRI</sub> - 2.3<sub>SUN</sub>

主催 公益財団法人徳島県文化振興財団  
共催 徳島県、一般社団法人徳島新聞社  
助成 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会  
一般財団法人地域創造、徳島県あわ文化創造支援  
監修 日置貴之(白百合女子大学准教授)  
制作 古典空間  
後援 四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島



阿波銀行は徳島県の文化振興を応援しています。

## 出演者・プロフィール

### 阿波路会

あわじかい

人間国宝故鶴澤友路師に師事する、徳島の太夫・竹本友和嘉と淡路人形座の三味線・鶴澤友勇が、徳島と淡路を人形浄瑠璃で盛り上げようと結成した。



### 竹本友和嘉

たけもと ともわか

【阿波路会】

豊澤町子に師事し、1976年初舞台。1996年鶴澤友路師(人間国宝)に入門し、1997年竹本友和嘉を名乗る。同年、友和嘉会発足。2007年に東京国立劇場の「阿波の芸能」人形浄瑠璃公演、2013年には東京・国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演するほか、数多くの海外公演にも参加。また、小中学校対象の「義太夫節のワークショップ」をはじめ、十郎兵衛屋敷での義太夫教室や阿波路会を開催している。2002年人形浄瑠璃因協会奨励賞、2009年人形浄瑠璃因協会女子部門奨励賞、2017年とくしま芸術文化奨励賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。



### 鶴澤友勇

つるざわ ともゆう

【阿波路会】

1978年に鶴澤友路師(人間国宝)に入門し、1985年に淡路人形座に入座。同年、鶴澤友勇を名乗る。数多くの海外公演にも参加。また国立劇場、京都造形芸術大学「春秋座」、義太夫保存会が主催する女流義太夫演奏会などへの出演、阿波路会の開催、小中学校対象の「義太夫節三味線のワークショップ」や、南あわじ市立三原中学校郷土芸能部の太夫、三味線の指導など幅広く活躍している。2000年には人形浄瑠璃因協会奨励賞、2013年には第33回伝統文化ポーラ賞を受賞。重要無形文化財(総合認定)保持者。



### 西川古柳

にしかわ こりゅう

【八王子車人形・西川古柳座】

東京都八王子市において伝承されている人形劇で、車人形は文楽に似た人形を用いる。現在の家元は五代目で、本名は瀬沼享(1996年に五代目家元を襲名)。1983年、東京都無形文化財指定。1994年、国・選定無形民俗文化財指定。近年ニューヨーク公演では、週刊ローカル情報誌、『タイムアウト・ニューヨーク』(TimeOut New York)にて五つ星を獲得。



### 本條秀太郎

ほんじょう ひでたろう

茨城県出身。三味線演奏家、作曲家。桐朋学園芸術短期大学講師。1971年に本條流を創流し古典、民族音楽を土台とし現代に伝統音楽として生まれた楽派「湮奏楽」を発表。端唄・民謡・民俗芸能の発掘、採譜、CDの発表等国内外で音楽活動を続けている。2004年第五十四回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞を受賞、2007年紫綬褒章を受章。



### 田辺銀治

たなべ ぎんや

東京都出身。幼少より講師・田辺一鶴に入門し人気を博す。高校卒業後、数々の海外遊学を敢行し、師没後2010年、母・田辺鶴瑛門下へ。2011年、二ツ目昇進。古典講談と共に数々の新作講談を口演。代表作は一鶴譲りの「東京オリンピック」や自身のオリジナル「講談・古事記」シリーズ。講談文化の価値を発信するべく、講談以外のジャンルでも言葉をもベースにした様々な試みに積極的に挑んでいる。

司会 下澤弥生

## 演目解説

いせおんどこいのねたば

### 『伊勢音頭恋寝刃』『油屋の段』より

阿波・徳島を扱った浄瑠璃と言えば、『傾城阿波の鳴門』。しかし、もう一つ阿波の藍商人が登場する演目があります。『伊勢音頭恋寝刃』…伊勢古市の油屋に逗留する阿波の侍徳島岩次と阿波の商人藍玉屋北六、この二人は阿波の大家のお家乗っ取りを企む悪者たちでした。伊勢古市で実際に起こった事件をもとに歌舞伎で初演され、のちに文楽でも上演されるようになった人気演目です。今回は地元徳島、阿波路会の竹本友和嘉と竹本友勇が素浄瑠璃で挑みます。

こうやたかお

### 『紺屋高尾』

講談や落語で有名な人情噺『紺屋高尾』。藍染め職人が、手の届くはずのない人気花魁に一目惚れ。その純粋な想いが花魁の心を射止める…江戸の遊郭で繰り広げる純情物語です。江戸時代末、文楽系三人遣いの人形を一人遣いに改良した八王子車人形。国・選定無形文化財、東京都指定無形文化財にも認定されている西川古柳座が新たな演出で挑みます。藍をテーマに講談と江戸の端唄演奏に導かれて描く、伝統人形芝居の新たな展開にご注目ください。

### ■入場料

一般指定席 2,000円

学生(高校生まで)指定席 1,000円

※前売・当日共通料金

※4歳以上、有料。

3歳以下は、保護者1名につき1名まで膝上鑑賞無料(座席が必要な場合は有料)。

※出演者や終演時刻等に変更となる場合があります。予めご了承ください。

※当公演は舞台芸術公演のため、写真および動画の撮影は固くお断りいたします。

### ■プレイガイド

#### ○あわぎんホール(窓口・電話・インターネット)

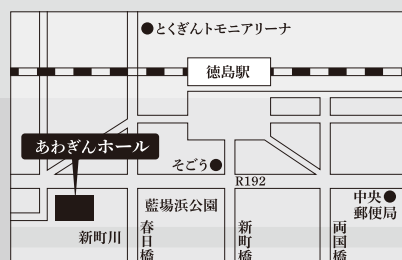
※電話もしくはインターネットで予約された方は、全国のセブンイレブンの店頭にて24時間お支払い・お受け取りいただけます。

※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。

※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。

#### ○徳島新聞社事業部(平日9:30~17:30)

※徳島新聞各販売店でも取り次ぎます。



#### アクセス

徳島駅より徒歩8分

徳島ICより車で20分

徳島空港より空港連絡バスで25分、

徳島駅より8分

#### お問い合わせ

あわぎんホール

(徳島県郷土文化会館)

TEL.088-622-8121

E-mail:jigyō@kyoubun.or.jp

#### 近隣駐車場のご案内

あわぎんホールには専用の駐車場がございません。お車でお越しの方は、あわぎんホール東側の「県営藍場町地下駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られており、駐車できない場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。